

6-3 3/5時の指導計画

(1) 目 標

「矛盾」の基になった漢文に表現された内容に関心を持ち、故事成語の意味に合う日常生活の出来事と結び付けて考えようとする。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 「矛盾」の意味を確認し前時までの学習を振り返る。 2 本時の目標を確かめる。	学習計画表 ワークシート②	○前時に確認した「矛盾」の意味を板書する。 ○ワークシート②でかいた「矛盾」の故事の4コマ漫画を見直させ、本時の活動のイメージをもたせる。	
「矛盾」の基になった故事と自分の生活を結び付けて考えよう				
展 開	3 自分の生活における矛盾した出来事について考える。  ・ワークシート②と作品モデルⅠを比較して、故事成語「矛盾」の基になった故事と全く同じ構成や展開でなくてもよいことを確認する。 ・作品モデルⅡを読み、文章と4コマ漫画とどちらか1つでもよいことを確かめると同時に、評価規準を具体的に理解する。	ワークシート③ 指導者の作品モデルⅠ 指導者の作品モデルⅡ	○指導者自身の体験を紹介し、振り返りやすくさせる。 ◆ワークシート③に指導者自身の体験を書いたものを、電子黒板に投影して説明することで、ワークシート③の使い方や評価規準について具体的に理解させる。 ○作品モデルⅠと作品モデルⅡを使って起承転結の構成や故事成語の基になった故事との関連について説明する。 ○実際に体験したことだけでなく、創作してもよいことを伝える。 ○絵はマルや棒線などの簡単な線でかく絵でよいことを知らせる。 ○グループで作品を読み合い、一言感想を伝えることを確認する。	◇起承転結について理解するのに時間が掛かっている生徒には、小学校第6学年(光村図書・東京書籍)の時に読んだ五言絶句「春暁」を例にして説明する。

展 開	<p>4 矛盾の意味に合う出来事について起承転結の構成に沿った文章や4コマ漫画をかく。</p> <p>5 グループで作品を読み合い、交流する。 〔手順〕</p> <p>1) 作品を読み、その作品の裏に、一言感想を書き添える。</p> <p>2) 作品についてかかれた出来事の内容や矛盾の意味との関連などについて質問をしたり、改善点について意見を述べたりする。</p>	ワークシート③	<p>○時間に余裕のある生徒には、起承転結の構成に沿った文章と4コマ漫画の両方をかくことを勧める。また、複数の出来事をかくことを望む生徒にはワークシート③を渡す。</p> <p>○交流は、作品にかかれた出来事が、矛盾の意味に合っているかどうかという観点で行うのであって、構成や展開、記述や絵の巧みさなどについて行うのではないことを確認する。</p> <p>○よいところを感想として述べるだけでなく、質問をしたり、意見を述べたりすることが理解を深めるために大切であることを伝え、交流を促す。(1つの作品について、最低1回は、質問をするか意見を述べるかすることを約束事にして交流させる。)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【関①】 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心をもち、故事成語の意味に合う日常生活の出来事と結び付けて考えようとしている。</p> <p>【観察】</p> <p>【ワークシート③】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>故事成語の辞書的な意味に合う出来事を、文章または四コマ漫画のどちらかにかいている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>当該生徒の日常生活から類推して、当てはまるような体験をいくつか例に挙げて、自分の生活を振り返らせる手掛かりとさせる。また、体験の思い浮かばない生徒については、生徒のよく知っている物語や漫画作品などの出来事を例に示してかくように促す。</p> </div>
	ま と め	<p>6 学習計画表の「自己評価」の欄に本時の自己評価に合った顔マークを書き、「学んだこと(学習のまとめや感想)」を書いて本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の「目標」と「学習活動」を確かめ、見通しをもつ。</p>	学習計画表	<p>○「学んだこと」の欄に、最も印象に残った作品とその理由を書かせる。</p> <p>○次時は自分が選んだ故事成語について、起承転結の構成に沿った文章や4コマ漫画をかくことを確かめる。</p>